

【所属名：総務部 財政課】

【会議名：令和元年度第2回行政改革推進委員会】

会 議 録

作成日 令和元年 11 月 25 日

日	令和元年 11 月 21 日	時間	13:30~15:30	場所	市役所 2 階 201、202 会議室
件名	(議題) 推進項目上半期の取組状況 令和2年度実施計画(取組項目)の検討について				
出席者	【出席者】 齋藤 伸一(会長)、池田 正夫(副会長)、渡辺二三夫、北村 雄一、藤原 克朗、早川 正明、木島 嵩善、長谷川仁基、八木 章(9人) 【欠席者】 大貫 慶一(1人) 【事務局】 総務部 山本部長 財政課 大沢課長、嵐口補佐、黒坂主査 総務課 渡辺課長、大西補佐、塚田係長、渡辺係長、小竹主任主査 ガス水道局 谷口次長、両川係長				
	傍聴者定員		一人	傍聴者数	0人

会議要旨

1 開 会 (大沢課長)
2 会長あいさつ(齋藤会長)
3 議 題 (1) 推進項目上半期の取組状況 《推進項目1 市民目線に立った行政サービスの向上》 【説明内容】 <u>No.1 申請用紙の効率改善</u> 事務局 ・7つのライフイベント(転入・転出・出生・婚姻・離婚・死亡)に主眼を置き、必要な申請業務及び届出用紙の把握調査を行った。 ・調査結果を基に、関係各課による分析と協議を行い、方針を定めることとする。 <u>No.2 フロアごとの窓口改善</u> 事務局 ・毎年実施の「窓口サービス向上のための満足度アンケート」準備を行った。 ・新規として各窓口担当者に対するヒアリングアンケートの準備を行った。 ・各フロア窓口の問題点を明確化し、今後のあり方を決定する。

【質 疑】

(満足度アンケートの対応について)

委 員 ・ 継続して満足度アンケートを実施していると思うが、多い意見について教えてほしい。

事務局 ・ 窓口では、待たされる、記載台のボールペンが書きにくい、記載台が暗い、という意見があった。

待たされることについては、途中で経過説明するように改善した。

明かりについては、天候に合わせて日中も電気を多めにつける対応をした。

身だしなみや言葉遣いについては、8割以上が問題ないということであったが、1割程度が普通、やや不満であった。

対応できるものは対応し、研修も行っている。

委 員 ・ アンケートを取るだけでなく、その先の改善や対応に注力していただきたい。

《 2 民間委託・民営化の推進》

【説明内容】

No.3 学校給食調理等業務委託の検討

事務局 ・ 調理業務の民間委託について検討を進めている。

- ・ 現在の課題は小規模校における導入方法及び全体スケジュールと、食育などを踏まえた取組の検討である。
- ・ この検討の際、急遽、放課後児童クラブの運営に係る課題が浮上し、将来的に本件と関連する可能性が高いことから協議を行った。
- ・ 現調理員に係る会計年度任用職員としての処遇等が確定した時点で費用の再検証を行い、最終案を決定する。

No.4 図書館窓口業務の民間委託

事務局 ・ 経費比較では、直営の方が安いという結果である。

- ・ 当市の会計年度任用職員制度について調整中であるため、上半期での経費比較を見送った。

No.5 ホール施設管理運営における外部委託等の検討

事務局 ・ 市内4ホールについて、市民会館を中心とする集中管理を開始した。

- ・ 外部委託については、専門業者等の意見を聞く中では、採算性が低いホール運営を外部委託する場合は多額の委託料がかかってしまうため、具体的な検討は進んでいない。
- ・ 市内4ホールの利用の棲み分け（舞台・音響・照明の活用頻度の多少によって利用施設を振り分け）について運営方針を確認しながら、財政負担及び適切な人員配置に考慮した運営を検証する。

No.6 糸魚川市スポーツ協会の自主運営の強化とスポーツの振興

- 事務局
- ・臨時職員配置が1年経過し、事務引継ぎは順調である。さらなる市職員の従事時間削減効果は、今後徐々に増加する。
 - ・新しい事務局体制の検討にあたり、協会との協議が重要であることから、協会理事会と検討を進める。

No.7 糸魚川市文化協会の自主運営の強化

- 事務局
- ・ほぼ昨年と同じ削減時間を維持している。
 - ・臨時職員等配置による事務局体制の検証を行う。

No.8 糸魚川市観光協会の自立と機能強化

- 事務局
- ・協会では、新たに山岳ガイドツアーを造成して販売するとともに、市内宿泊のあっせんに係る仲介手数料について、宿泊事業者と協議を進めた。
 - ・観光の窓口業務のワンストップサービスを確立し、行政は観光施策、施設管理を中心に業務を行えるよう、それぞれの役割を整理して取り組む。

参考説明 会計年度任用職員（資料No. 1）

- 事務局
- ・令和2年度から会計年度任用職員制度が始まり、臨時職員は会計年度任用職員フルタイムと会計年度任用職員パートタイムという位置付けになる。
 - ・一定の勤務時間数を超えるパートタイム職員にも期末手当の支給が可能となり、フルタイム職員は退職手当の支給対象となる。
 - ・現在の臨時職員で来年度雇用される場合は、今年度の年収を下回ることはない。

【質 疑】

(会計年度任用職員について)

- 委 員
- ・非常勤特別職は具体的にどの職が会計年度任用職員になるのか。
- 事務局
- ・地域おこし協力隊が会計年度任用職員になり、学校医や投票管理者は非常勤特別職のままとなる。
- 委 員
- ・会計年度任用職員において、学校管理員や学校調理員がパートタイム、保育園調理員がフルタイムになっているが、差は何か。
また、学校調理員他、保育園調理員他とあるが「他」とは何を指すか。
- 事務局
- ・学校では、給食を作るときは大勢必要で、片付けは少人数で済むといった状況を加味している。
管理員は夏休みがあるためパートタイムとなる。
「他」とあるのは、教員補助員や検診系の職員が該当する。

(観光協会・山岳ガイド、ジオパークガイドについて)

- 委員 ・山岳ガイドツアーは、他地域より参加費が高いと感じたが、実際はどうか。
- 事務局 ・ニーズが少ないと結果として費用がかかるが、決して高くはないと考えている。
- 委員 ・誰がガイドをするのかパンフレットに載せた方が良いと思う。
ガイドの有資格者をパンフレットに載せたらどうか。
- 事務局 ・糸魚川山岳連盟とは別に山岳ガイドが集まって、協力してもらっている。
提案は、観光協会に伝える。
- 委員 ・「町歩き」がジオパークガイドツアーのパンフレットに載っている。
それ以外のガイドツアーも掲載してもらいたいが、どうか。
- 事務局 ・ジオパークのホームページや専用のチラシで、1時間あたりのガイド料金を掲載している。
観光協会に申し込むとジオパークガイドの会からガイドが選ばれる。月に10万円の収入がある人もいる。

(文化ホールの運営について)

- 委員 ・市民参加型によるホール運営や文化ホール利用者の自主・自立的運営とあるが、借り手に何を求めようとしているか。
- 事務局 ・市民参加型によるホール運営では、ホールの運営を手伝ってもらえることを目指しており、研修会に参加いただいたが、平成30年度は手伝いの段階に至らなかった。
文化ホールについては、全てホールスタッフに丸投げするのではなく、こういう照明にしてほしい、こういう音響にしてほしいと利用者から指示いただくことを目指すものである。
- 委員 ・市からホール運営を受託している会社から、スタッフが不足気味なので、予約時間が重なると、会場があっても運営ができない事があるかもしれない、という感想を聞いた。
採算性があがれば良いのだろうけれども、難しいと感じる。
- 事務局 ・時間帯が重なる予約は今のところ無いが、今後発生する場合は調整が必要になるだろう。
他市の例では、照明や音響は借り手が手配しているケースが多いことから、糸魚川市のサービスは他に比べて厚いと考えている。
- 委員 ・利用者が勉強すれば運用できそうか。
- 事務局 ・そういうことになる。
ビーチホールまがたまでは、ベテランスタッフが退職し、後継者がいるものの演出が凝っている団体に対応するとなると難しい面がある。
利用者と相談しながら、ホール運営の見直しを進めていきたい。

(スポーツ振興としてのPRについて)

- 委員 ・全国大会に出場する場合、糸魚川高校では垂幕、糸魚川中学校では窓に横断幕を張っている。
良いことだが、そこへ見に行かないとわからない、と感じてしまう。

糸魚川市はスポーツ振興のPRが下手かな、と思う。

事務局 ・ 市民会館には垂幕があつて使用しているが、3地域ごとにPRすることも重要と考える。地域ごとという点では手薄だと思つるので、検討する。

委員 ・ スポーツ協会は名前変更となり、独立に向かおうとしている。
独立は10年前から言われているが、やる気になっている時だからこそ、計画を作る必要があると考える。

(図書館の経費比較について)

委員 ・ 図書館の民間委託・民営化による経費節減について、職員数や人件費が過去どうだったか、これからどうなっていくのか、後日、概数でよいので示してほしい。

事務局 ・ 推進項目の下半期の取組状況を説明する機会に示させていただく。

(給食に係る業務チェックについて)

委員 ・ 学校給食に異物が入っていたことがあつた。
業者はチェックするのだけれども、市も監督者として定期的にチェックすべきと考える。

事務局 ・ 参考までに、給食センター内部を見に行つたことがあり、業者は毎日チェックし、市も月1回やっていた。

委員 ・ 学校給食への異物の混入は何回もあつた。チェックの方法を変える必要がある。

事務局 ・ 市直営の給食を含めて、再考すべきというご意見と捉えた。

《3 事務事業の改善と変革》

【説明内容】

No.9 職員による行政事務・業務の改善及び提案 資料No. 2を含む

事務局 ・ 職員提案は係毎に業務改善を実践し、その取組事例を募集した。
・ 整理運動は、第一段階としてパソコンのデスクトップや机上等の整理を実施した。

No.10 嘱託員制度の見直し

事務局 ・ 県内市町村の状況調査し、動向は委託方式が主となっている。
・ 委託先の検討（基本は、区との契約とする）を行つた。

No.11 タブレット端末の導入による事務の効率化

事務局 ・ 本格導入に至っておらず、段階的な運用を行っている。

【質 疑】

(職員提案の推進について)

- 委 員 ・カイゼンチャレンジは、1次審査、事例発表、最優秀決定と進むようだが、残らない提案であっても良い提案があると思うので、とにかく改善につなげてほしい。
市なので賞金は無いのだろうけれども、ヒスイとか、職員のやる気が出るような商品を出してあげてほしい。
- 事務局 ・カイゼンチャレンジの提案は、全職員が見られるような環境になっている。
良い提案は、庶務担当の会議でも知らせたい。
今年度は仕事始めの式での表彰を考えている。

(タブレット端末の利用状況について)

- 委 員 ・タブレット端末は何割の議員が使っているのだろうか。また、市の貸与か。
- 事務局 ・タブレット端末については公費で貸与している。
・数名を除き、使っている。
統計資料や事務報告、議会資料はペーパーレスにした。
事務報告書については、希望があって2名の方にペーパーでも渡した。
・議会事務局分を含め26台、月額約8万円の使用料である。

(職員のチームワークについて)

- 委 員 ・働き方改革に関連して、職場の風通しが大切である。
市職員は一人一人で行動（仕事）する場面が多いと思う。
つまり「ワンチーム」になっていないと感じる。
精神的なことから休んでいる職員が二桁いるというのは、非常に多いと感じる。
総務課が音頭をとって一致団結して取り組んでいかないと市役所はパンクする。
- 事務局 ・ある人が超勤100時間で、ある人が超勤が無いという状態では駄目だと認識しており、ワークシェアに取り組んでいく必要があると考えている。
また、給料日のノー残業デーは見回りをしているが、強化のため、先月から部課長が見回っている。
- 委 員 ・ガス水道局に、自宅の管の腐食について質問をしたところ、技術部門の職員が丁寧に説明してくれて良かった。
技術部門を持っている部署はいいチームになっていると感じた。

《4 公共施設の総合的かつ計画的な管理》

【説明内容】

No.12 公共施設等総合管理指針の評価と実践 資料 No. 3

- 事務局
- ・公共施設等総合管理指針に基づき、施設カルテを活用した施設管理の現状分析と評価を実施した。（マネジメントに馴染む施設として、使用料収入がある施設、収益性がある施設、収益性は無いが主要な施設の176施設を優先して作成。）
 - ・一次評価はカルテを基に施設所管課が分析し、改善策を提案する。
二次評価は一次評価で課題がある施設について庁内マネジメントグループで評価を行う。
 - ・今後の取組みとして、公共施設等総合管理指針の改訂（地区全体を考慮した施設配置について、老朽化前の有効活用、使用料改訂のあり方）、二次評価の継続、市民への情報提供を行っていく。

【質 疑】 なし。

《5 事務事業の改善と変革》

【説明内容】

No.13 受益者負担の適正化 資料 No. 4

- 事務局
- ・改正の基本事項を定め、庁内調整及び市議会説明を行った。
 - ・市町合併後の消費増税分を加味し、令和2年度から上昇改定することとしたが、大きな改定とならないよう調整した。（試算による影響額は90万円前後）
 - ・手数料は改定しない。（法定的料金が多い。近隣自治体の動きが無い。）
 - ・使用料は利用料金制の指定管理施設（11施設中6施設）は、指定管理者に影響があるため改定対象とする。
また、市が使用料を徴収する施設を改定対象とする。ただし、集会施設、火葬場及び市営住宅等の生活必需の施設は改定しない。
 - ・改定率は、市町合併後の消費増税を加味して5%増とする。

No.14 補助金・負担金の適正化

- 事務局
- ・今年度の補助申請を確認する中で、繰越額、留保財源等、適正な補助金となっているか調査し、新年度へ向けて整理作業中である。

No.15 上水道料金の新たな料金体系の構築

- 事務局
- ・水道料金あり方検討委員会委員の選任を進めた。
 - ・本年度の委員会は、現状説明を行う予定である。

【質 疑】

(水道料金の統一について)

- 委 員 ・水道料金について3地域で全然違う。調整は大変だと思うが合併して10年もたっているのに成し遂げてもらいたい。
- 事務局 ・11/14に水道料金あり方検討会で水道制度の現状や料金も3地域で違うことを話させてもらった。水道料金については将来的には統一したいが、段階的になるかもしれない。

(補助金とヒスイ王国館の駐車場について)

- 委 員 ・ヒスイ王国館の駐車場運営には、市も絡んでいると考えてよいか。
- 事務局 ・補助金交付などの点で関係している。
- 委 員 ・新幹線利用する場合に、ヒスイ王国館駐車場を4日間無料で使用できる。イベントがあると車が入れなかったり、契約している人も入れなかったりすると聞いたことがある。
消費税10%に伴い月額使用料が1,000円も上がったと聞く。ヒスイ王国館の駐車場については新幹線の利用に伴う無料化をやめた方が良いのではないかと感じた。
- 事務局 ・ヒスイ王国館の駐車場については、王国館の依頼で無料化に至った経過がある。
- 事務局 ・現在の制度としては、すぐに改正することができないと思う。
なお、イベントで駐車場が不足する場合は、旧JR寮に臨時駐車場を設けており、利用することができるようになっている。

(使用料の改定について)

- 委 員 ・資料の中の30分以下という表現は30分も含まれると思うので、重ならないようにしていただきたい。
- 事務局 ・諸説があつて、重ならないように整理中である。

《6 職員の意識改革と効率的で質の高い組織運営》

No.16 内部監査制度の強化と業務監査の実施 資料 No. 5

- 事務局 ・糸魚川市内部監査実施要領に基づき、業務における法令の遵守、事務処理のミス防止等の観点から、監査委員とは別に毎年実施している。
- ・地元企業の視察を計画している。

No.17 職員の地域活動への積極的参加

- 事務局 ・あらゆる機会を通じ、地域活動や各種団体活動の積極的参加を呼びかけている。
- ・本年度の自己申告書により参加状況を集計するとともに、引き続き地域行事への参加率が増加するよう呼びかけの強化を行う。

(No.18 職員研修による資質向上)

- 事務局
- ・階層別研修、各種専門研修等に参加している。
 - このほか、ハラスメント防止、レジリエンス等、働きやすい職場づくりに寄与する研修を実施する。
 - ・実務の基礎である財務研修（4テーマ4回）を10月に行うこととした。

(No.19 行政改革意識の向上)

- 事務局
- ・タイトルを「行革情報」とし、5月から5回発行した。
 - ・行革取組項目である整理運動、職員提案、内部監査とタイアップしている。
 - ・引き続き、幅広い視野や気付きに結びつく情報を掲載する予定である。

【質 疑】

(職員研修について)

- 委員
- ・職員研修は外部講師を使っているのか。
- 事務局
- ・庁内の講師の場合、外部講師の場合と両方ある。
- 委員
- ・階層別研修に部長級の研修が無いように見えるが、実際はどうか。
- 事務局
- ・課長研修は、部長と課長を含んでいる。

(内部監査と外部診断について)

- 委員
- ・内部監査の観点で外部診断を検討しているようだが、どのような業者に委託する予定か。
- 事務局
- ・金融機関係事業者には依頼できないか協議を進めている。

(職員資質とガス水道料金のチェック機能について)

- 委員
- ・11/19の糸魚川タイムスでガス水道料金に関するミスの記事を見た。経過等を説明してほしい。
- 事務局
- ・11/18の建設産業常任委員会で報告したが、11月分の料金について10月分の使用料に10%の消費税で算出したところ、料金プログラムのミスにより1円少ない請求となった。
 - 3007件の誤請求があり、これから料金をいただく段階だったので正しい請求額をお知らせするとともに、業者に指導をした。
- 委員
- ・業者に丸投げではなく、市でもチェックする必要がある。
 - 職員の事務処理能力の向上とあるが、チェック機能を確立する必要がある。
- 委員
- ・1件あたり1円の誤請求のために正しい請求をお知らせすることになり、84円の郵送代をかけている。この経費については電算会社に請求するのか。
- 事務局
- ・電算会社に求めていく。

《個別計画》

【説明内容】

(糸魚川市子ども・子育て支援事業計画)

事務局 ・これまでの検討に幼保無償化に伴う市営・民営保育園等の収支比較を加え、庁内協議を進める。

(糸魚川市長期財政見直し)

事務局 ・ごみ処理施設の関係や、会計年度任用職員制度を含め、見直しを行う。

(糸魚川市公共下水道事業、集落排水・浄化槽事業、ガス事業、簡易水道事業、水道事業経営戦略)

事務局 ・ガス、水道、簡易水道事業の経営戦略について、平成31年3月に策定した。
・ガス、水道、簡易水道は、本年度末までにアセットマネジメント計画を作成することとし、結果について令和2年度末までに上記経営戦略を見直す予定である。

(糸魚川市定員適正化計画)

事務局 ・H31 定員適正化計画職員数 518 人（平成 31 年 4 月 1 日の職員数 514 人）。

【質 疑】

(新潟県の財政状況と長期財政見直しについて)

委員 ・新潟県の財政がひっ迫している。このことが糸魚川市の長期財政見直しにいつ頃反映されるのか。

事務局 ・9月に新潟県の財政状況について説明を受け、11月中に何を減らすか連絡があるとのことであったが、現時点で連絡はない。情報を収集している段階である。県は数年で100億円予算圧縮することなので、状況を把握し次第、できるだけ市の予算や長期財政見直しに反映していきたい。

(定員適正化計画と今後について)

委員 ・20年後には人口が20,000人くらいになる可能性がある。

人員管理について、10年後、20年後の人口に見合った形にするのか。

事務局 ・定員適正化計画は次期計画策定の際に、人口20,000人を見据えてどうしていくかを検討することになる。

市町合併直後に662人いた職員が現在514人になっており、かなり減った感がある。総務省のモデルケースや他市の状況を踏まえ検討していきたい。

(会計年度任用職員について)

委員 ・会計年度任用職員の年収について、考え方はどうか。

事務局 ・令和元年度の年収を下回らないように設定している。よって、日給で考えると5,000円だった場合が4,500円になるかもしれない。年収全体で調整する。

委員 ・資料の中に手当等とあるが「等」は何か。

事務局 ・共済保険である。

(2) 令和2年度実施計画（取組項目）の検討について

事務局 ・来年度の新規項目について、別紙アンケートによりご意見をいただきたい。

【質 疑】 なし。

(3) その他

(台風の対応について・防災計画について)

- 委 員 ・先般の特別大雨警報は、糸魚川市で初だった。
台風や災害の対応検証を行っているかどうか。今回は情報伝達について問題があったと思うが、防災計画を変更するなどの対応はあるのか。
- 事務局 ・今回の台風において、初めて全市的に避難所を設けた。
意見をお聞きする中で必要があれば防災計画を変更していく。
- 委 員 ・区長あてに台風19号の対応アンケートがあった。
消防だけでなく、行政の立場で検証してもらいたい。
避難所の能生生涯学習センターではカップラーメンを出すことができたが、能生地域の学校の避難所では、学校は給食センター方式なのでカップラーメンを出すことができない。
- 委 員 ・アンケートの内容は雑ばくで、逆に回答しづらい。
もう少し細かい質問の方が答えやすい。
- 委 員 ・年々、災害の規模が大きくなっている。地区の意見を調整願いたい。
- 委 員 ・防災計画の差替があったばかりなので、来年の変更に向けて意見を吸い上げてもらいたい。
- 委 員 ・なお、避難所での市職員の対応は良かったので感謝する。

5 今後の日程について

事務局 ・次回の行政改革推進委員会については2月下旬から3月上旬の間で調整したい。

6 閉 会（大沢課長）